

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2025年												2026年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~11日	1月 ~18日	1月 ~25日	2月 ~1日	2月 ~8日	2月 ~15日
カンピロバクター	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	18	8	6	5	3	6	7
病原性大腸菌	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	52	11	17	12	11	19	10
腸管出血性大腸菌	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0
サルモネラ	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	12	3	6	2	6	1	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	13	4	2	2	3	3	1
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	1	1	4	2	1	1	4

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和8年第7週(2月9日~2月15日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7					3	1	3
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2			1				1
四類	0	発生なし	0							
五類	15	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2					1	1	
		急性脳炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		梅毒	6			1		3		2
		百日咳	4		3			1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

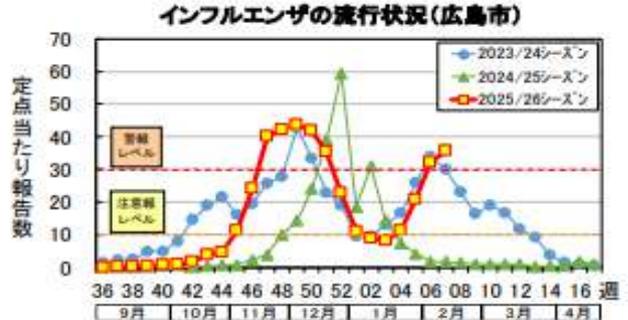
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり35.65人と、警報レベル(定点当たり30.0人)を上回る状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は48件の報告がありました。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第7週 A型:12人、B型: 217人



2 感染性胃腸炎

定点当たり9.71人と、多い状況が続いています。冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加します。ノロウイルスは、感染者の便や吐物に多く含まれ、飛沫や人の手などを介して経口感染します。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.68人と、前週と比べて増加しました。全国も増加傾向であり注意が必要です。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1.2以上の増減
												増減	微増減	
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2599	76.44			小児科	突発性発しん	3	0.14	0.16		急増減	前週と比較しておおむね1.2以上の増減	
	インフルエンザ	1212	35.65	8.42			ヘルパンギーナ	-	-	0.03		増減	前週と比較しておおむね1.5~2の増減	
	新型コロナ(COVID-19)	23	0.68				流行性耳下腺炎	1	0.05	0.01		微増減	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減	
小児科	RSウイルス感染症	6	0.29	0.27		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05		横ばい	ほとんど増減なし	
	咽頭結膜熱	2	0.10	0.41			流行性角結膜炎	1	0.13	0.58				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.57	1.19		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	感染性胃腸炎	204	9.71	7.11			無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	7	0.33	0.07			マイコプラズマ肺炎	3	0.50	0.13				
	手足口病	2	0.10	0.21			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	1	0.05	0.01			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.17	0.06				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	14	20歳代・推定感染地域: 国外、40歳代・推定感染地域: 国外、70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1	80歳代
5	急性脳炎	1	1	10歳未満
5	侵袭性肺炎球菌感染症	2	4	70歳代・2人
5	梅毒	3	11	40歳代・1人、50歳代・2人
5	百日咳	1	9	50歳代